

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条 第 1 項	安全原則	電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 4	箇条 4 一般要求事項（JIS C 9335-1（以下、第 1 部）の規定による。） 機器は、通常使用時に起こりやすい不注意があっても、人体及び／又は周囲に危害をもたらさないように安全に機能する構造でなければならない。	
第二条 第 2 項	安全原則	電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.6 22.20 22.102 22.104 22.105 22.107	第 1 部の第二条第 2 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.6 通常使用において、内部に結露水がたまってしまう外郭には、浸水に対して、電気絶縁を損なわない箇所に排水口をもたなければならない。 22.20 断熱材は、内部配線の基礎絶縁に用いてはならない。 22.102 密閉形温水器は、繰り返し出湯させても、水が沸騰してはならない。 22.104 元止式温水器の給湯接続口は、タンクが著しい圧力を受けても、水の流れを制限しないような構造でなければならない。 22.105 シスターン内蔵温水器のタンクは、通気口によって、常に大気圧の状態でなければならない。 22.107 電熱素子及びタンク外側表面に取り付けた温度セ	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条 第2項 続き				22.108	ンサは、堅固に取り付けなければならない。 22.108 壁面設置の機器は、十分な強度をもつ取付金具をもち、給水の配管に力が加わらないように設置しなければならない。	
				22.109	22.109 貯湯量が 15 L を超え、排水管を通じて排水することが不可能な機器は、工具を用いて排水する手段をもたなければならない。	
				22.110	22.110 樹脂製のタンクを用いた元止式温水器は、適切な向きに取り付けられるような構造でなければならない。	
				22.111	22.111 熱交換式密閉形温水器は、通常使用において、熱交換器からの熱によって温度過昇防止装置が作動してはならない。	
				箇条 25	箇条 25 電源接続及び外部可とうコード	
				25.1	25.1 機器には、機器用インレットを組み込んではならない。	
				附属書 AA	附属書 AA 熱交換式密閉形温水器内への設置が意図された沸き上げ用電熱ヒータユニットに対する追加要求事項	
				AA.22	AA.22 構造	
				AA.22.112	AA.22.112 沸き上げ用電熱ヒータユニットは、設置後にタンクからの水漏れがないことを確実にするためのシール又は水漏れ防止手段を施さなければならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条 第 2 項 続き				AA.22.113	AA.22.113 沸き上げ用電熱ヒータユニットは、工具を用いないで取り外せてはならない。	
第三条 第 1 項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前条の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 19.13 箇条 22 22.106 箇条 24 24.102 24.102.1 附属書 AA	第 1 部の第三条第 1 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 19 異常運転 19.13 異常運転試験中、容器から水漏れがあってはならない。 箇条 22 構造 22.106 密閉形温水器は、全極遮断機能をもつ温度過昇防止装置を装備し、温度調節器とは別に作動しなければならない。 箇条 24 部品 24.102 密閉形温水器の温度過昇防止装置は、出湯温度が規定値を超える前に作動するか、又はタンクの温度が規定値を超える前に作動しなければならない。 24.102.1 密閉形温水器の温度過昇防止装置は、出湯温度が規定値を超える前に作動することが、プログラマブル電子回路に依存する場合、ソフトウェアは、故障/エラー状態を制御する手段を含んでいなければならない。 附属書 AA 熱交換式密閉形温水器内への設置が意図され	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第三条 第2項 続き				7.12.1	<p>せる。</p> <p>－密閉形温水器の排水方法。</p> <p>7.12.1 据付説明書には、機器が圧力逃し弁を内蔵していない場合、圧力逃し弁の形式又は特性、及び接続方法を記載しなければならない。</p> <p>熱交換式密閉形温水器の取扱説明書には、熱交換器から発生する熱による、温度過昇防止装置の誤作動を防止するために必要な、制御装置の取付方法、温度設定を記載しなければならない。</p>	
				7.101	7.101 給水接続口と給湯接続口とを識別しなければならない。	
				附属書 AA	附属書 AA 熱交換式密閉形温水器内への設置が意図された沸き上げ用電熱ヒータユニットに対する追加要求事項	
				AA7	AA7 表示、及び取扱説明又は据付説明	
				AA.7.1	AA.7.1 沸き上げ用電熱ヒータユニットには、定格入力及び最大許容給水圧を表示しなければならない。	
				AA.7.12.1	<p>AA.7.12.1 据付説明書には、次の内容を記載しなければならない。</p> <p>－タンクの形式、容量又は容量範囲、及びタンクの寸法</p> <p>－タンク内でのヒータユニットの配置</p> <p>－タンク内に水のあることを確認しなければならない</p>	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第三条 第2項 続き					<p>旨</p> <p>－水タンクに圧力逃し弁が存在していない場合、圧力逃し弁を設備内に設置する必要がある旨</p> <p>－圧力逃し弁の形式及び特性、並びにその設置方法</p>	
第四条	供用期間中における安全機能の維持	電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 23 23.3 箇条 25 25.14 箇条 31	箇条 23 内部配線 23.3 内部配線は、折曲げ試験の結果、異常を生じてはならない。（第1部の規定による。） 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.14 シースなしの平形電源コードは、折曲げ試験の結果、異常を生じてはならない。（第1部の規定による。） 箇条 31 耐腐食性（第1部の規定による。） 腐食によって機器がこの規格に適合しなくなるおそれがある鉄製の部分は、防腐食対策を十分に施さなければならない。	
第五条	使用者及び使用場所を考慮した安全設計	電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 6 6.1 6.2	第1部の第五条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 6 分類 6.1 機器は、感電に対する保護に関し、クラス 0I、クラス I 又はクラス II のいずれかでなければならない。 6.2 屋外設置用の機器は、IPX4 以上でなければならない。それ以外の機器は、IPX1 以上でなければならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第六条	耐熱性等を有する部品及び材料の使用	電気用品には、当該電気用品に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、絶縁性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 11 箇条 22 22.21 箇条 24 箇条 30 30.1	箇条 11 温度上昇（第 1 部の規定による。） モータ巻線、配線及び巻線以外の絶縁物の上限値は、規定する値を超えてはならない。 箇条 22 構造 22.21 木材、綿、絹、紙その他これに類する繊維性又は吸湿性がある材料は、含浸を施さない限り絶縁物として用いてはならない。（第 1 部の規定による。） 箇条 24 部品（第 1 部の規定による。） 部品は、合理的に適用できる限り、関連規格に規定する安全性に関する要求事項に適合しなければならない。 箇条 30 耐熱性及び耐火性 30.1 非金属製の外側の部分、接続部を含む充電部を保持する絶縁物、及び付加絶縁又は強化絶縁として用いている熱可塑性絶縁物は、十分な耐熱性をもっていなければならない。（第 1 部の規定による。）	
第七条 第 1 号	感電に対する保護	電気用品には、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。 一 危険な充電部への人の接触を防ぐとともに、必要に応じて、接近に対しても適切に保護すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 8 箇条 22 箇条 25	箇条 8 充電部への接近に対する保護（第 1 部の規定による。） 箇条 22 構造（第 1 部の規定による。） 充電部が、可触金属部に接触するおそれがない構造でなければならない。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第七条 第1号 続き				25.22 箇条 26	25.22 機器用インレットは、コネクタの挿入及び取外しの間、充電部に触れないような構造でなければならない。(第1部の規定による。) 箇条 26 外部導体用端子 (第1部の規定による。) 端子は、外郭のカバー又は一部を取り外さないと触れることができないものでなければならない。	
第七条 第2号	感電に対する保護	二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。	■該当 □非該当	箇条 27 27.1	第1部の第七条第2号に該当する規定によるほか、次による。 箇条 27 設置接続の手段 27.1 クラス I 機器の場合、電熱素子のシースは、接地端子に恒久的、かつ、確実に接続していなければならない。	
第八条	絶縁性能の保持	電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。	■該当 □非該当	箇条 11 箇条 13 箇条 14 箇条 16 箇条 17	箇条 11 温度上昇 (第1部の規定による。) モータ巻線、配線及び巻線以外の絶縁物の上限値は、規定する値を超えてはならない。 箇条 13 動作温度での漏えい電流及び耐電圧 (第1部の規定による。) 箇条 14 過渡過電圧 (第1部の規定による。) 機器は、発生する可能性がある過渡過電圧に耐えなければならない。 箇条 16 漏えい電流及び耐電圧 (第1部の規定による。) 箇条 17 変圧器及びその関連回路の過負荷保護 (第1部の	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第八条 続き				箇条 19 箇条 29	規定による。) 変圧器から電源の供給を受ける回路をもつ機器は、通常使用時に生じる短絡においても、変圧器の巻線は規定する値を超えてはならない。 箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 異常運転試験において、絶縁物の温度上昇は規定する値を超えてはならない。 箇条 29 空間距離、沿面距離及び固体絶縁（第 1 部の規定による。）	
第九条	火災の危険源からの保護	電気用品には、発火によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、発火する温度に達しない構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 11 箇条 19	箇条 11 温度上昇（第 1 部の規定による。） 木材一般、油に接触する部分の上限値は、規定する値を超えてはならない。 箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 異常運転試験において、炎、危険な量の可燃性のガスが機器から漏れてはならない。	
第十条	火傷の防止	電気用品には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 11	箇条 11 温度上昇（第 1 部の規定による。） 通常使用時に継続して手で保持する、又は短時間だけ保持する部分の上限値は、規定する値を超えてはならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十一 条第 1 項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、それ自体が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 20	箇条 20 安定性及び機械的危険	
				20.1	20.1 固定形でなく、かつ、手持形でもない機器で、床上又は卓上で用いる機器は、十分な安定性をもっていなければならない。（第 1 部の規定による。）	
				20.2	20.2 機器の運動部は、通常使用時に人体を傷害から適切に保護するように配置されているか、又は外郭で囲ってなければならない。（第 1 部の規定による。）	
				箇条 22	箇条 22 構造	
				22.14	22.14 機器には、通常使用時又は使用者による保守の際に危険を及ぼすおそれがある凹凸のある角又は鋭い角があってはならない。（第 1 部の規定による。）	
				22.15	22.15 可とうコード用の巻付けフックその他これに類するものは滑らかでなければならない。（第 1 部の規定による。）	
				箇条 23	箇条 23 内部配線	
				23.1	23.1 配線路は、滑らかでなければならない。（第 1 部の規定による。）	
				箇条 25	箇条 25 電源接続及び外部可とうコード	
				25.9	25.9 電源コードは、機器のとがった部分又はとがった角に接触してはならない。（第 1 部の規定による。）	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十一 条第2項	機械的危険源による危害の防止	2 電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	附属書 AA AA.22 AA.22.47	第1部の第十一条第2項に該当する規定によるほか、次による。 附属書 AA 熱交換式密閉形温水器内への設置が意図された沸き上げ用電熱ヒータユニットに対する追加要求事項 AA.22 構造 AA.22.47 沸き上げ用電熱ヒータユニットは、通常使用時に発生する水圧に耐えなければならない。	
第十二 条	化学的危険源による危害又は損傷の防止	電気用品は、当該電気用品に含まれる化学物質が流出し、又は溶出することにより、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 箇条 22 22.22 22.23 22.41 箇条 32	箇条 19 異常運転（第1部の規定による。） 異常運転試験において、危険な量の有毒性のガスが機器から漏れてはならない。 箇条 22 構造 22.22 機器は、アスベストを含んではならない。（第1部の規定による。） 22.23 機器には、PCB を含んだ油を用いてはならない。（第1部の規定による。） 22.41 機器は、ランプを除き、水銀を含む部品を組み込んではならない。（第1部の規定による。） 箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性（第1部の規定による。）	
第十三 条	電気用品から発せられる電磁波	電気用品は、人体に危害を及ぼすおそれのある電磁波が、外部に発生しないように措置さ	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 32	箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性（第1部の規定による。）	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十三 条続き	による危害の防 止	れているものとする。				
第十四 条	使用方法を考慮 した安全設計	電気用品は、当該電気用品に通常想定される無監視状態での運転においても、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 19.7 19.9 箇条 22 22.40 22.49 22.50 22.51	箇条 19 異常運転 19.7 人がついていない状態で運転する機器は、拘束試験において、巻線の温度は規定する値を超えてはならない。（第 1 部の規定による。） 19.9 遠隔制御若しくは自動制御によって運転するモータをもつ機器、又は連続運転を行う可能性がある機器には、過負荷運転試験において、巻線の温度が規定の値を超えてはならない。（第 1 部の規定による。） 箇条 22 構造 22.40 遠隔操作作用の機器には、機器の動作を停止させるためのスイッチを取り付けなければならない。（第 1 部の規定による。） 22.49 遠隔操作の場合、運転持続時間を設定しない限り、機器が始動できないようにしなければならない。（第 1 部の規定による。） 22.50 機器内に組み込んだ制御装置がある場合、それが遠隔操作によって操作される制御装置よりも優先されなければならない。（第 1 部の規定による。） 22.51 機器上には、機器が遠隔操作作用に調節されているこ	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十四 条続き				箇条 30 30.2.3	とを示す視覚的表示がなければならない。(第 1 部の規定による。) 箇条 30 耐熱性及び耐湿性 30.2.3 遠隔操作の機器及び人の注意が行き届かない状態で動作する機器については、非金属材料に燃焼試験を行わなければならない。(第 1 部の規定による。)	
第十五 条第 1 項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	■該当 □非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転 (第 1 部の規定による。) 異常運転試験において、機器は、危険な誤動作を起こしてはならない。	
第十五 条第 2 項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	■該当 □非該当	箇条 24 24.101	第 1 部の第十五条第 2 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 24 部品 24.101 温度過昇防止装置は、自動復帰式であってはならない。温度過昇防止装置はトリップフリー開閉機構をもつか、又は着脱できないカバーを取り外すことによってだけ復帰が可能である場所に取り付けなければならない。ただし、容易に操作できない場所に位置する場合を除く。	
第十五 条第 3 項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	□該当 ■非該当	—	—	一般的に、不意な停止によって人体に危害を及ぼし又は物件に

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十五 条第3項 続き						損傷を与えるおそれがないため、非該当が妥当と考える。
第十六 条	保護協調及び組合せ	電気用品は、当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し、異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を設定するとともに、安全装置が作動するまでの間、回路が異常な電流に耐えることができるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 10 箇条 19 箇条 25 25.8	箇条 10 入力及び電流（第 1 部の規定による。） 機器に定格入力（定格電流）が表示されている場合、通常動作温度における入力（電流）は、許容値を超える差があってはならない。 箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 故障状態の下での機器の安全性をヒューズによって確保する場合は、適切なものを選ばなければならない。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.8 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第一に適合したコード以外の電源コードの導体は、規定する値以上の公称断面積をもつものでなければならない。 （第 1 部の規定による。）	
第十七 条	電磁的妨害に対する耐性	電気用品は、電氣的、磁氣的又は電磁的妨害により、安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 24 24.102.1	第 1 部の第十七条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 24 部品 24.102.1 密閉型温水器の温度過昇防止装置の温度制御が、電子回路に依存する場合、次の試験を実施した結果、その装置は、出湯温度が規定値を超える前に作動しなくてはな	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十七 条続き				24.102.2	らない。 －電子回路の故障試験 －イミュニティー試験 24.102.2 密閉形温水器の温度過昇防止装置の温度制御が、電子回路に依存する場合、次の試験を実施した結果、その装置は、タンクの温度が規定値を超える前に作動しなくてはならない。 －電子回路の故障試験 －イミュニティー試験	
第十八 条	雑音の強さ	電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑音を発生するおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	—	—	J55014-1 等の別規格で規定されている。
第十九 条	表示等（一般）	電気用品は、安全上必要な情報及び使用上の注意（家庭用品品質表示法（昭和三十七年法律第百四号）によるものを除く。）を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7 7.14	箇条 7 表示、及び取扱説明及び据付説明 7.14 表示は、容易に判読でき、かつ、耐久性があるものでなければならない。（第 1 部の規定による。）	
第二十 条第 1 号	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか、当該各号に定めるところによる。 一 扇風機及び換気扇（産業用のもの又は電	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	—

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十 条第 1 号 続き		<p>気乾燥機（電熱装置を有する浴室用のものに限り、毛髪乾燥機を除く。）の機能を兼ねる換気扇を除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法（昭和四十八年法律第三十一号）第三十二条の三第一項第一号に規定する設計標準使用期間をいう。以下同じ。）</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨。</p>				
第二十 条第 2 号	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>二 電気冷房機（産業用のものを除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	—

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十 条第2号 続き		に至るおそれがある旨。				
第二十 条第3号	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置を有するものを除く。）及び電気脱水機（電気洗濯機と一体となっているものに限り、産業用のものを除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨。</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	—
第二十 条第4号	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>四 テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限り、産業用のものを除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	—

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-21:2019

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-21 部：貯湯式電気温水器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十 条第4号 続き		(ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨。				